

地域のネットワークとの共生

～地域の諸団体との連携を通して～

【阿武町 福賀中学校区】

地域の概要

阿武町は、奈古、福賀、宇田郷の三つの地区から構成されています。奈古、宇田郷の両地区が、日本海に面した漁業中心の地域であるのに対して、福賀地区は農業地域です。子ども会育成連絡協議会や地域ぐるみ生徒指導推進協議会など地域で子どもを育てようとする意識が高い地区です。

人口	688 人	
世帯数	307 世帯	
対象校及び 児童生徒数	福賀中学校	9 人
	福賀小学校	13 人

保護者や地域住民の教育への意識や期待は高く、地域振興、相互扶助、ボランティア、生涯学習の深化を目的とした様々な団体が設立され、相互に密接に連携し合って活動しています。

組織の内容

本中学校区の地域協育ネットの中核を担うのは、「保小中育友会連絡協議会」です。この連絡協議会は、みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校のPTAの役員、福賀地区子ども会育成連絡協議会会長、公民館長によって構成されています。この協議会では地域の子どもたちに関する課題などを保・小・中で連携して取り組み解決しており、コーディネーターは公民館長が兼ねています。

コーディネーターが交渉に当たるボランティア団体、関係機関は、下の図に示すように、福賀昭和会（老人クラブ）、福賀ことぶき会（老人クラブ）、福賀婦人会、阿武町農村青年協議会、福賀地区子ども会育成連絡協議会、福と賀の里創世企画、阿武町林業振興会、福賀木目会、金社神楽保存会、公民館で数多くあります。しかし、これ以外にも萩交通安全協会福賀分会、福賀ほほえみ会（ボランティア団体）、農事組合法人うもれ木の郷、福の里、あぶの郷など協力していただける団体は多岐にわたります。これらの団体は、日頃から密接に連絡を取り合っており、必要に応じてコーディネーターを通して依頼しています。

みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校では、これら諸団体と日頃から連絡を密にし、総合的な学習の時間の講師、登下校の見守り活動、環境整備作業の支援、放課後における個別の学習指導などの支援を受けています。

